

「砂丘探究」に取り組もう

～探究のプロセスを習得しよう～

1年 総合的な学習の時間
「砂丘を知る」
資料の活用(郷土資料)

ねらい

- 砂丘の良さや砂丘に対する思いを伝えることができる。
- 多様な情報を活用しまとめることができる。

学習展開・・・・・・・・

- ① 昨年の探究発表の映像をプロジェクターで紹介し、完成をイメージさせる。
- ② 多様な資料のブラウジングや、マンダラート法で考えを広げてからテーマを見つける。
- ③ テーマの設定理由、研究内容、研究方法、具体的な計画をワークシートに記入する。
- ④ 調べた内容を効果的に伝えられる発表方法でまとめる。(新聞、ポスター、パワーポイント等)
- ⑤ 発表し評価する。



砂丘についての多様な資料を参考にする生徒



鳥取砂丘について調べた生徒の学習成果物

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は学年主任や授業者と、まとめるポイント、ワークシートについて話し合う。
- 司書教諭はテーマ決めの方法を提案する。
- 学校司書は、学年主任から事前に授業計画を確認し、配布資料を保存する。
- 学校司書は多角的な資料を収集する。
- 学校司書はパスファインダーを作成する。
- 司書教諭、学校司書は T2、T3 で支援する。

★指導のポイント

- ◆ パスファインダーで各種情報資源や探索方法を知る。
- ◆ 新聞記事、パンフレットなどの最新の情報にも関心を持つ。
- ◆ マンダラートを使い、考えを広げてからテーマを決めていく。
- ◆ 郷土資料コーナーを確認する。
- ◆ 情報モラルを守る。

資料

「パークガイド鳥取砂丘」(自然公園財団)、「砂丘伝説」(リヨン社)、「鳥取砂丘まるごとハンドブック」(鳥取砂丘検定実行委員会)、「国立公園鳥取砂丘の生きもの」(鳥取出版企画室)、「地形の大研究」(PHP研究所)、「砂漠の大研究」(PHP研究所) 他 山陰海岸ジオパーク、砂丘観光などのパンフレット・リーフレット 砂丘の新聞記事